

会 議 録

会議の名称	平成23年度第4回行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
開催日時	平成24年1月25日(水) 開会；午後1時30分・閉会；午後2時15分
開催場所	行田市郷土博物館会議室
出席者(委員)氏名	小林康男 石岡克司 鹿山高彦 小堀 隆 根岸節子 関口富生 三村 誠 藤井尚子 相原香保留 木元千草 野中昭夫 内田愛三郎 加藤はつ江 西野栄子
欠席者(委員)氏名	根本和雄
事務局	岡田健康福祉部長 新井高齢者福祉課長 飯塚主幹 石川主幹 岡田主査 小巻主査
会議内容	(1)行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(素案)について (2)その他
会議資料	(資料名・概要等) ・行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第4回策定委員会次第 ・行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(素案)
その他必要事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
委員長	2 あいさつ 委員長あいさつ
司会	3 議事 ・それでは、議事に入る。策定委員会要綱の規定に基づき委員長に会議の進行をお願いします。
委員長	・それでは、議題の1番目「行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（素案）について」事務局に説明を求める。
事務局	・資料に基づき説明する。
委員長	・説明に対し意見、質問があるかきく。
委員	・介護保険料の見込みについて、もう一度ご説明いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料区分は、現在は6段階・7区分であるが、次期から8段階・10区分を考えている。段階は、合計所得金額が125万円未満、125万円～190万円未満、190万円～400万円未満、400万円以上という分け方となる。また、従来の第3段階を細分化する予定である。</li> <li>・介護保険料の見込みは、介護報酬の改定と地域区分の改定を見込まなければ、4,576円程度となり、現在の保険料から13.8%上昇することになる。</li> <li>・介護報酬の改定と地域区分の改定を見込み、なおかつ県の財政安定化基金から約3,700万円が入る予定であることを勘案すると、さらに約100円アップと見込まれる。</li> </ul>
委員	・家族が第1号被保険者となって、その保険料を見たときに「高い」という印象を持った。おそらく市民の方々も同じように思うだろう。介護保険料の設定などについてインターネットなどで公表するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会で素案の承認をいただいた後、2月1日～3月2日までパブリックコメントという形で計画（素案）をホームページに掲載する。また、高齢者福祉課にも閲覧用資料として備え付ける予定である。</li> <li>・ただし、介護保険料は公表しない。</li> </ul>
委員	・市民にも「(介護保険料上昇は) やむをえない」と理解していた

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>だくように、情報提供が必要と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の進行管理については簡単な記述があるが、具体的にはどのように管理するのだろうか。</li> <li>・第5期計画の進行管理は、P.118に記述してある通りに行っていくこととなる。計画の趣旨に則って具体的な内容を定めて進行していくこととなる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内で担当部署の担当者が集まって、進行管理のための会議を行ったりするのだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標がある事業については達成状況等を管理している。</li> <li>・第4期計画では、担当者による会議等を行っていない。しかし、第5期計画では定期的な進行管理を取り入れていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.131に「介護についての相談窓口を充実すること」という要望があげられているが、介護保険は手続きがわかりにくいので相談窓口の充実はもっともなことである。しかし、実際には施設に直接相談にくることが多いので、施設が窓口であるということが実情である。サービス利用の条件等については個別の状況によって変わってくることもあり、たとえば所得段階の違いが関係する時には「税務課に行ってください」と言わざるをえない。もう少し市の相談の機能を拡充すれば市民の満足度も上がると思われる。</li> <li>・介護保険の財源負担は第2号被保険料が約30%、第1号被保険者は約20%なので、実際には第2号被保険者の負担の方が多い。サービス利用者の側からのみ保険料を考えるのはおかしい。もっと情報提供していくべきである。</li> <li>・たとえば医療費控除のことを聞かれることも多いが、本当は税務署などが説明すべきことである。</li> <li>・市がどうというわけではなく制度上仕方がないことなのだが、せめて市では相談窓口と広報の充実を図っていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度上難しい点もあるが、市としてわかりやすいパンフレットを作成し情報提供もしてきた。また、相談に来られれば応じる。市で解決できないことであれば関係機関を紹介することもあるが、一義的な窓口として市の役割は大きいと認識している。ご意見を参考として検討していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.42に高齢者虐待について記載がある。色々なつながりがある人は大丈夫と思われるが、行田市でも高齢者虐待の件数は増えているのであろうか。</li> </ul>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では法律施行に先立ち、県内でも早い時期に虐待防止条例を制定した。</li> <li>・高齢者への虐待については年に2～3件で推移している。増加傾向ではないが、表に出てこないような虐待もあるようだ。そのような事案は地域包括支援センターに相談が寄せられている。</li> <li>・全国的に見て、子が虐待者になることが多い。虐待に至る過程が複雑化してきており、原因が特定しにくい。たとえば精神疾患が関連していることもあるし、家庭の困窮があったり、原因が一つに特定できないことも多く、解決も難しくなっている。また、一人暮らしや引きこもりの方などは、地域の方の協力も得て、いきいきサロン等に出てもらおうなどの取り組みを行っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員から市へ通知されることもあるのだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の方などから市へ直接連絡がくることもある。また、リスクが高い家庭の情報はある程度把握できている。多くは、民生委員や地域包括支援センター経由で情報が入る。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護の関係では成年後見制度があり、年間10件程度の相談があるとのことである。市としては市民後見人制度を進める予定はあるのだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人制度について、取り組んでいる市町村もあるが、本市では人材養成等の予定は特にない。しかし、身寄りのない高齢者も増加しつつあり需要は増えている。今後は今以上に必要になってくると認識しているが、具体的な計画は現時点ではない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題(1)についてのご意見は以上でよろしいだろうか。ほかになれば先に進みたい。</li> <li>・その他・事務局から何か連絡事項等はあるだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月1日～3月2日までパブリックコメントとして、市民の方からの意見を募集する。ホームページへの計画（素案）の掲載に加えて、高齢者福祉課及び情報コーナーに資料を備え付けて閲覧に供する予定である。</li> <li>・パブリックコメントの結果を受けて第5回委員会を開催したい。開催時期は3月の半ばになる見込みである。なお、委員から水曜日は都合が悪いという意見があるため、次回委員会は</li> </ul>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員長	<p>水曜日以外の日程調整を行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上で本日の議題をすべて終了したので、これをもって議長の職を解かせていただき、事務局にお返ししたい。</li> </ul>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは閉会の言葉を副委員長にお願いしたい。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長い時間のご議論、ありがとうございました。</li> <li>・ 本日提示された計画素案をみると、高齢者にやさしい施策が数多く掲載されている。これだけのことを実現することがどれほど大変であるかと思われる。自分自身も心をひきしめて、なるべくお世話にならないよう心がけたいと思う。そしてご近所や人と人との支え合いを大切にしたいと思う。</li> <li>・ 寒い日が続くが、どうか次回の委員会も元気出席していただきたい。</li> </ul>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上をもって策定委員会を終了する。</li> </ul>